

やなせたかし文化賞シンポジウム

今年2019年は、「アンパンマン」の生みの親として知られる、やなせたかし氏の生誕100周年にあたります。これを記念し、公益財団法人やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団では、「やなせたかし文化賞」を創設しました。受賞作品の発表に先立ち、18年12月15日(土)、東京都新宿区で、本賞の意義ややなせたかし氏の思いを紹介するシンポジウムが開催されました。ここでは、その模様を一部ご紹介いたします。



やなせたかし文化賞 YANASE TAKASHI CULTURAL AWARD

子ども文化の発展と振興を目指して

開会のあいさつ

やなせたかし氏の遺志を継いで

公益財団法人やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団理事長 明石 猛氏



当法人は1995年に漫画家やなせたかし氏の支援を受け、同氏のふるさとである高知県香美市香北町で創立されました。翌年に「やなせたかし記念館アンパンマンミュージアム」を開館し、現在は、やなせ氏と、同氏にゆかりのある作家の方々の作品の保管・管理、研究、公開に加え、漫画などの芸術文化の普及、振興に関する事業を幅広く行っております。開館22年目には400万人もの国内外のご来館者を迎えることができました。

今回、「やなせたかし文化賞」を設立したのは、当財団初年度のやなせ先生の遺言に「子どものための良心的な漫画、絵本、作詞作曲、芸術文化を行った個人、団体に対して、2年に1度やなせたかし賞を贈る制度を作ること」とあったからです。やなせ先生は、マルチクリエイターとしてさまざまな仕事に携わってきました。この賞では、第二のやなせたかしとなる作家や団体を見いだし、その活動を奨励する賞に育ててまいりたいと願っております。

やなせたかし文化賞とは

子どものための漫画、絵本、作詞作曲などの分野に属する優れた作品の制作活動を行い、その育成や普及を通じて振興に功績顕著なものや、将来一層の活躍が期待される個人または団体に対して授与される。第1回の候補者募集は、2017年中旬から18年初旬まで行われ、日本全国から72組の候補者が集まった。選定委員による審査、選定が進められ、19年2月6日に5組の「やなせたかし文化賞」、うち1組に「やなせたかし文化賞 大賞」が発表される。

選定委員 8名(男女以下、50歳以下)
[委員長] 里中 満智子(漫画家)
内川 雅彦(高知新聞社 読者サポート部長)
宇野 亞喜良(イラストレーター)
橋 久美子(作家)
立原 えりか(漫画作家)
ちば てつや(漫画家)
吉川 佳代子(認定NPO法人高知こどもの図書館 館長)
牧野 鈴子(イラストレーター)
瀧山 昭(作曲家・一般社団法人 日本童謡協会 会長)

選定委員 トークディスカッション

「やなせたかし文化賞」について

「やなせたかし文化賞」について、あらためて教えてください。里中 やなせたかし先生は、漫画家、デザイナー、イラストレーター、作詞家、プロデューサー、さらには歌手でもありました。何が本職というのではなく、すべての表現活動が「やなせたかし」という一つの作品だったと思います。とても幅広い表現力をお持ちの方で、その根底にあるのは、平和への思いや子どもを育てる環境づくりであり、どうすればみんなが幸せになれるだろう、どうしたらみんなの心が豊かになるのだろうといったお考えになっていました。ですから、この「やなせたかし文化賞」は、どんな表現活動でもどんな作品でも、やなせ先生のような心を持った方に賞を差し上げたいと思っています。どの作品が受賞するのか、ぜひ楽しみにしてください。

やなせたかし先生との思い出

選定委員の皆さまは、やなせ先生との思い出をたくさんお持ちだと思います。特に印象に残っていることをお聞かせください。ちば やなせ先生がご逝去されたとき、そのお祝いのパーティーでモーニング姿の



里中 満智子氏 漫画家 (まなか まちこ)大阪府出身。高校在学中に第1回講談社新人漫画賞を受賞し、プロとして活動開始。特攻隊長を主人公とした「天上の虹」は32年をかけて2015年3月に完結した。文部科学大臣賞、文化庁長官表彰賞を受賞多数。公益財団法人日本童謡協会理事、一般社団法人マンガジャパン代表、大阪芸術大学キャラクター造形学科学科長などを務める。



ちば てつや氏 漫画家 東京都出身。1956年、単行本デビュー。82年「1・2・3と4・5・7」で第3回講談社児童まんが賞、77年「のたり松太郎」で第6回日本漫画家協会賞特別賞、78年第23回小学館漫画賞を受賞。文部科学大臣賞、文化庁創立50周年記念表彰賞、2002年紫綬章受章、12年旭日小綬章受章。主な作品に「あしたのジョー」など。公益財団法人日本童謡協会 会長。



宇野 亞喜良氏 イラストレーター (うの あきよし)愛知県出身。カルピス食品工業、日本デザインセンター、スタジオフィルを経てフリー。専攻社出版文化賞、文芸春秋賞、サンリオ美術賞、赤い鳥賞、日本絵本賞、全広津日本宣伝賞、山名賞などを受賞。1989年紫綬章、2010年旭日小綬章受章。主な作品に「宇野亞喜良60年代ボクサー」(MONO AQUIRAX+)、絵本「あしたのジョー」(今江祥智・文)など。



牧野 鈴子氏 イラストレーター (まきの すずこ)熊本県出身。1978年に高木謙の詩「どんな?」の挿絵で雑誌「詩とメルヘン」デビュー。79年徳島県サンリオ美術賞受賞。83年「森のクリスマスツリー」で、ポロニー国際児童図書展工ルバ賞受賞。84年「おぼいんない」で、ポロニー国際児童図書展工ルバ賞受賞。主な作品に「ねむりむね」「おぼいんない」「おぼいんない」(今江祥智・文)など。



内川 雅彦氏 高知新聞社 読者サポート部長 (うちかわ たかひこ)高知県出身。1968年高知新聞社入社。学芸部部長時代の2009-13年に、社のOBでもあるやなせたかし氏が80歳のときにスタートした月刊誌「やなせたかし」の編集に携わった。4代目担当を継ぎ、連載は13年11月に322回で終了し、遺稿となった4本は最終回までまとめて執筆して完成した。学芸部長、編集委員、読者サポート部長、読者委員などを歴任。18年4月より現職。



吉川 佳代子氏 認定NPO法人高知こどもの図書館 館長 (よしかわ かよこ)高知県出身。公費員、編集者、作家秘書などを歴任。1987年「高知こどもの図書館」をつくる会(のメンバー)となる。99年4月「高知こどもの図書館」を創設。事務局スタッフ。12月、日本で最初のNPO法人が設立し、運営する「高知こどもの図書館」を開設。職員として勤務した後、2011年6月NPO法人高知こどもの図書館 館長に就任。

やなせ先生がウェディングドレスを着た里中満智子さんを伴って現れました。漫画家仲間「ええ、2人は結婚したの?」とみんな驚かされたね(笑)。先生は、いつも誰かを笑わせたい、楽しませたいという気持ちを持ってた人で、そういう楽しい思い出がたくさんあります。宇野 実は僕はやなせさんに貸しがあるんです(笑)。僕が自作の句集に挿絵をつけて、やなせさんに送った「音響機 聴くノスタルジー ラムネ飲む」という句の「ノスタルジー」を使わせてくれた。やなせさんの「ノスタルジー」という歌は、実は僕のアイデアなんです。僕はそのままの「ノスタルジー」のほうがいい、「さん」はいらんないんじゃないかと思っているんですけど、そんな話を売りました。(笑) 里中 そういえば、やなせ先生はその歌で紅白歌合戦出場を狙ってましたね! 毎年リハーサルと本番の2日間は必ず予定を空けていたんです。一つひとつの物事に本気で、真摯に向き合われていた先生らしいなあと思います。内川 やなせ先生はいくつもの顔をお持ち

でしたが、実は1946年に高知新聞社に入社され、新聞記者を勤めていました。記事だけでなく、4コマ漫画から連載小説や広告の挿絵まで縦横無尽の活躍をされていたようでした。その後、在籍一年ほどで退社、上京されました。ですから、高知新聞社は、やなせたかしさんを世に送り出した良い会社なんです。吉川 認定NPO法人高知こどもの図書館は、日本で最初の民間の図書館です。19年前の開館当時、やなせ先生は何の面識もないのに、「頑張りなさい」というメッセージとともに寄付金を送ってくださいました。本当にありがたく、励みになりました。私たちが

も、こうした志をしっかりと持ち、子どもたちに素晴らしい作品を届けられる図書館にしたいと思っています。「やなせたかし文化賞」に期待すること —「やなせたかし文化賞」には、どんな期待をされていますか ちば 『アンパンマン』をはじめ、やなせ先生のキャラクターは世界中の子どもたちを元気づけています。そういう意味でも、「やなせたかし文化賞」が「今回は誰が選ばれるんだろう」と子どもたちの間で話題になるような、ノーベル賞やそのほかの大きな賞に匹敵するほど注目される賞にならないかと願っています。牧野 今の子どもたちは、パソコンやゲームなど生まれたときからデジタルの世界に漬かっています。でも、紙の質感を感じながらページをめくる楽しさや、お芝居などで同じ場所にいる人たちと共有する楽しさを忘れてほしくないと思っています。そうした子どもの芸術文化に光を当てるよ

うな賞になっていくことを願っています。吉川 自立しなくても、しっかりした活動をされている人。その人の励みになるような賞になればうれしいと思っています。やなせ先生から「よう見つけたね、あの人による賞をあげたね」と褒めていただけるような方に巡り合えることを願っています。里中 先生のように、何事にも本気で活動されている方がたくさん応募してくださるといいですね。



大和田りつこ×やなせうさぎ やなせたかしオリジナルコンサートに数多く出演した童謡歌手、大和田りつこさんと、やなせ氏の分身である、やなせうさぎによる童謡コンサート。やなせ氏の思い出エピソードが語られるとともに、「手のひらを太陽に」ほか5曲が披露されました。



「やなせたかし文化賞」シンポジウム



朗読劇「義野仙子」 Project Nyx(プロジェクト・ニクス) やなせたかし氏の物語に宇野亞喜良氏がイラストをつけた限定1000部の絵本「義野仙子」(かまくら春秋社)を現代パフォーマンスの実験演劇ユニットProject Nyxが演劇化。赤れない漫画家ヤルセ・ナカと美少女義野仙子とが織りなす夢のファンタジーの世界に観客を引き込みました。



やなせたかし文化賞 YANASE TAKASHI CULTURAL AWARD

2月6日、やなせたかし100回目の誕生日、「やなせたかし文化賞」を発表します。

選定委員・ちばてつや氏(漫画家)が来館!

●11時~ アンパンマンミュージアムにて 第一回 受賞者発表会を行います。

やなせたかし100周年記念 「百寿のOh!やなせたかし」展 会期: 2月6日(水)~7月8日(月)

やなせたかしの描くアンパンマンの美術館が高知の山里にあります 香美市立 やなせたかし記念館 アンパンマンミュージアムと詩とメルヘン絵本館 (公財)やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団 〒781-4212 高知県香美市香北町美良布1224-2 TEL.0887-59-2300 FAX.0887-57-1410 mail: info@anpanman-museum.net

やなせたかしミュージアム前 山形自動車道 高知 香美市 香北町 山形自動車道 高知 香美市 香北町 山形自動車道 高知 香美市 香北町